

【別紙】各種確認書(申請人作成用)

参考様式

1 日本語能力(該当するものを全て記載)

1番に書く内容がない場合は空欄のままで結構です。

Japanese language ability (select all the appropriate ones)

■ 試験による証明 Proof based on a Japanese language test

(1) 試験名 Name of the test (2) 級数又は点数 Attained level or score
日本語能力試験 N2

(3) 試験日 Date of the test

2024年7月7日

直近のもの、またはメインのものについて記載してください。

■ 日本語教育を受けた教育機関及び期間 Organization and period to have received

(1) 機関名 Organization (住所) Address
(2) 期間 Period from (Year) (Month) to (Year) (Month)
(3) 学習時間 Study hours hours

授業時間の総数。自習時間等を含めない。

2 入学選考における

2番は早稲田大学の入学選考で語学力をどのように確認されたかについて記載します。日本語プログラムの場合は日本語能力について、英語プログラムの場合は英語について書いてください。

Selection of Entrants ()

■ 試験 test

□ 語学能力の確認(レベル)

Check of language ability (level)

() 試験 級/点 相当

例) 日本語能力試験N2相当

語学の試験を受けた場合に選択してください。詳細は省略していいです。

■ 面接 Interview

□ 語学能力の確認(レベル)

Check of language ability (level)

() 試験 級/点 相当

例) 日本語能力試験N2相当

その言語で面接を受けた場合に選択してください。詳細は省略していいです。

■ 書類確認 Check of documents

■ 語学能力(確認書類)

Language ability (documents)

(日本語能力 試験 N1 級/点 証明書)

例) 日本語能力試験N2

語学スコアを提出した場合に記載してください。例) 日本語能力試験 N1、EJU 450点、TOEIC 900点

□ その他(詳細) others (details)

()

例) ●●からの推薦

※ 2の語学能力については、修学に必要な外国語の語学能力の記載で可。募集要項等を参考に可能な範囲で記載してください。

※ 記載は任意となりますので、当該記載内容のみをもって、在留資格において不利益な取扱いをすることはありませんが、可能な限り詳細に記載することを推奨します。在留審査において疑義が生じ、記載内容も不足している場合、書類の追加提出を求める可能性があります。

※ 以下「教育機関/課程等名」については、教育機関、課程、学部、学科、専攻、コース等の名称を詳細に記載してください。

教育機関/ 早稲田大学

WASEDA TARO

パスポートのアルファベット表記

課程等名: 大学院政治学研究科 修士課程 政治学専攻 申請人氏名:

学部生の場合は大学名、学部名、学科名、大学院生の場合は大学名、研究科名、課程名、専攻名